

【別紙】ほんのれんとは

「ほんのれん」は「問い」と「本」をめぐって対話することで、組織や場に新たな発見や気づきを生み出す「読書対話」プログラムです。2023 年より編集工学研究所と丸善雄松堂が提供を開始し、全国の学校や企業、自治体で導入が広がっています。



「ほんのれん」は「本の連」を意味します。本を媒介に、人々がつながり合い、江戸時代の「連」のように新しい文化を生み出すことを目指します。



「ほんのれん」のワークショップツール「ほんのれん句感ノート」。30 種類以上あるテーマの中から、対話したい「問い」を選びいただけます。

<こんな場面・目的で「ほんのれん」を活用いただいています>

企業で...

- 企業でのコミュニケーション円滑化、対話促進
- オフィス内コミュニティスペースでの交流機会創出、空間活用

学校で...

- 中学校・高校の探究型学習教材として
- 大学のラーニングコモンズでの活動創出、学生間の交流促進
- 大学の一般教養・キャリア授業での活用

地域・自治体で...

- 自治体の地域活性化プログラム
- 公共図書館での本を使った市民向けプログラム展開

▼導入事例の詳細はこちらからご覧いただけます。

- 大学キャンパスで「創発」を起こすために 一大阪経済大学様 (<https://bit.ly/honnoren-o>)
- これからのオフィスに必要なのは「対話を生む場」。ーヒューマンリンク株式会社様 (<https://bit.ly/honnoren-h>)



「ほんのれん旬感ノート」では、「問い」を考えるために厳選した5冊の本を紹介。冊子を読むだけで、5冊分の本からの視点に触れて思考を深めることができます。



「ほんのれん旬感ノート」には書き込みながら連想を広げ、思考を深められるワークシートページも。冊子があれば、気軽にワークショップを実施できます。

<「ほんのれん」で学習・対話できるテーマの例>

- ・自分の関心領域・問いを探す：学校の探究型学習（高校）など
- ・自分自身を知る・自分について伝えられるようになる：就活準備（大学）など
- ・コミュニケーション力を育む：新入生研修（大学）、新入社員研修（企業）など
- ・仕事や働き方について考える：チームビルディング、研修（企業）など
- ・つながりや場の力を考える：コミュニティ形成（地域）など

▼「ほんのれん」のワークショップテーマ一覧（2025年10月時点）

vol.1 「働く」ってなんだ？	vol.13 「大人」ってなんだ？	vol.25 「やる気」出さなきゃ？
vol.2 つながる？つながらない？	vol.14 ホントの自分？	vol.26 カラダ使えてる？
vol.3 「場」にはどんな力がある？	vol.15 お金とは□□だ。	vol.27 「正しさ」ってどこまで正しい？
vol.4 環境問題、何がモンダイ？	vol.16 なぜ旅をするのか？	vol.28 祭り、足りてる？
vol.5 争いは、さけられない？	vol.17 スマホ中毒？	vol.29 私たちの戦争？
vol.6 なんで、好きなの？	vol.18 笑うカドには？	vol.30 「好き」はどこにある？
vol.7 本のむこうに何がある？	vol.19 疲れてちゃダメ？	vol.31 今日なに食べる？
vol.8 「いいチーム」って？	vol.20 決め方、どう決める？	vol.32 話し合えてる？
vol.9 贈りものには、理由がある？	vol.21 なぜ、わかりあえないのか？	
vol.10 時は金なり？	vol.22 問いはどこに隠れてる？	
vol.11 鬼はソト？鬼はウチ？	vol.23 これって恋愛？	
vol.12 こども力？	vol.24 「新しい」はどこから生まれる？	

「ほんのれん」では、3テーマをパッケージにして活用いただくことをおすすめしています。テーマを横断してワークショップすることで、より多角的に思考・探究することが可能になります。

▼3 テーマパッケージ例（一部）

パッケージ：発想力を耕す



発想力ってなに？AI時代に大事な「センス・オブ・ワンダー」って？

パッケージ：自分を知る



現代の「自己意識」って？



自分の中にある「問い」は、どうしたら見つかる？



「新しい」を生み出す仕組みって？自分に、自分たちに、何が生み出せそう？

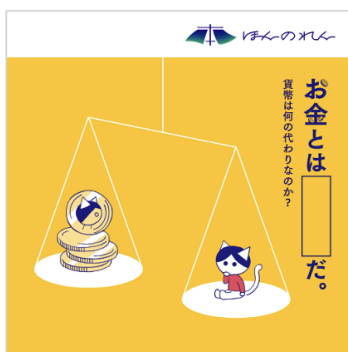


「好き」という気持ちの正体？



「好きなもの」から、自分を見つける。

パッケージ：社会の仕組みを考える ～現代の必須教養～



お金ってそもそもなんだ？



民主主義ってどういうシステム？共同体の、組織の、チームのいい決め方って？



「あの戦争」を、なぜ語る？どう語る？

パッケージ：SDGsと自分の関わりを考える



人新世って？「環境問題」の解像度を上げる。



「食」から環境問題を考える。自分の選択が、持続性にどうつながっている？



「贈与経済」って？資本主義システムの外側に目を向けてみる。

<「ほんのれん」で身に付く力>

- ・問う力、問いを発見する力
- ・情報を集め、整理する力
- ・思考する力
- ・対話する力（傾聴力、伝達力）
- ・他者を理解し、他者と協働する力

<お客様の声>

- ・対話相手の面白さを引き出す「問い」の重要性を実感しました。
- ・学習システムとしてだけでなく、自分たちが目指すゴールに向かう方法を考えるツールとしても使えそうです。
- ・本について語ることを通して、新しい自分が引き出される感覚が新鮮でした。
- ・60分弱のワークショップで、5冊もの本の内容がインプットできました。
- ・「ほんのれん」を導入して、対面でのコミュニケーションをとる機会が増えました。
- ・「ほんのれん」での対話を通じて、同僚の意外な一面を知ることができました。



「ほんのれん」では、ポッドキャスト「ほんのれんラジオ」も配信中（Apple podcast ブックカテゴリ最高1位）。ワークショップの前後に、耳で聴く「ほんのれん」も人気です。



編集工学研究所では、自ら「問い」を発見できるようになるために必要な「編集力」とは何か、ということを長らく研究しています。編集工学研究所 代表の安藤昭子による『問いの編集力』は Amazon ブックランキング発明・特許カテゴリで最高 1 位。

- (※) 教育機関向け「ほんのれん」ご紹介パンフレットは[こちら \(https://bit.ly/honnoren-edu\)](https://bit.ly/honnoren-edu) からご覧いただけます。
- (※) 「ほんのれん」のサービス資料は、[こちら \(https://bit.ly/honnoren\)](https://bit.ly/honnoren) からご覧いただけます。